

今月は物語文を学習します。場面をとらえる練習を物語文①～⑥でやりました。物語文⑦～⑨は、できごとから心情をとらえたり、理由を考えたりする問題を解いていきます。問題のレベルも高くなりますが、しっかりついてきてほしいと思います。

◆第15回 物語文⑨／外来語②

前回に引き続き練成問題では物語文を学習します。傍線前後の文脈をおさえ、「できごと→心情→行動」の流れをつかんで、設問を解くように心がけましょう。

語句は外来語を学習します。灘中の入試では必ず出題される分野です。日常生活の中で目や耳にする外来語に気を配るようにしておくことが大切です。

道順

第15回の授業では、場合の数の中の1つのテーマである「道順」について学習します。
答えを求めるための作業について理解し、自身で取り組めるように練習してみましょう。

◆第15回 場合の数 道順

場合の数、数えていく問題の中で、道順の問題です。このタイプは、すべて書きあげるのではなく、交差点に数を書いていく方法で解くことができます。基本的に、ある交差点にかかれる数はすべてスタートからその点までの進み方の場合の数を示すのですが、1つ前にはどこにいたか(言いかえると、その点にはどの点から進めるのか)を考え、その1つ前の交差点にかかっている数を加えるという作業の繰り返しで求めることができます。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 非常に単純なので、まずは今回のやり方に慣れてください。

例題2 少し複雑になります。→が集まっているところの数は、矢印の元の数之和になります。

例題3 AからBまで進むときに点Cを通る進み方…の考え方は、通ることができない部分の道をすべて消してもいいですし、 $A \rightarrow C$ と進む場合の数に $C \rightarrow B$ と進む場合の数をかけて求めてもいいのです。逆に、点Cを通らない進み方…となりますと、全体から点Cを通る進み方を引く方法でもいいですし、点Cから出ている線をすべて消して考える方法でもいいのです。

例題4 少し複雑な形になりますが、例1, 3と同じ発想で解くことができます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題2と同じような問題です。

② 見かけは異なりますが、結局発想としては、(1)は例題1, 2と同じように解けますし、(2)は例題1, 2と同じようにすべて数を書いてもいいですし、 $A \rightarrow B$ の進み方の場合の数に $B \rightarrow C$ の進み方の場合の数をかけて求めてもいいのです。

③ 複雑ですが、例題3, 4と同じような問題です。

④ 例題2に似ているといえます。

〔5〕 例題 4 に似ていますが、通れない道はありません。ちなみに灘中の平成 7 年度 1 日目の入試問題です。

〔6〕 今回の単元のまとめともいえる問題で、発想は同じです。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、〔2〕, 〔4〕, 〔6〕となります。